



# 『大』キヤッチ プレス

Matsubara Daisuke Seto City Report

# 松原大介

瀬戸市議会議員



2022年10月発行



Vol.13

## 瀬戸市**子どもの権利条例**が制定されました。

子どもの最善の利益の実現を基本理念とした子ども総合計画に基づき、「子どもにやさしいまち」の実現のため、子どもの権利と、市・保護者・学校等関係者・地域住民等の責務を明らかにしました。



安全に安心して  
生きる権利



自分らしく  
生きる権利



主体的に  
参加する権利



のびのびと豊かに  
育つ権利

## 古瀬戸小学校跡地の 公募を行いました。



主として事業者にはスポーツ施設として整備・利用をしてもらい、これまで小学校が有してきた地域住民の交流拠点としての機能や防災機能を、民間活力を導入して維持していくこととしました。

しかし、締切までに応募はなく、再度検討を行うことになりました。

## 新教育長に 加藤正彦さんが 決まりました。



教育長だった横山彰氏が令和4年9月30日に任期満了となり、退任の意思を示されたことで、新しい教育長に加藤正彦氏が着任されます。

加藤正彦氏は、古瀬戸小学校や、水野中学校・南山中学校で校長を務められた方です。今後の瀬戸市の教育行政に注目です。



第9回

みんなと

しゃべくり広場

日時：10月25日（火）  
19：00～20：30  
道泉地域交流センター

（記録のため録音させていただきます。）

# 「市政報告と、みなさまからの質問にお答えします。」

第一部：松原大介からの市政報告 第二部：質疑応答  
申し込み：15名様程度。予約不要。当日直接お越しください。  
参加費：無料、マスク着用をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止とさせていただく場合があります。

## 松原大介の一般質問

# ハートフルパーキング制度 （在宅医療・介護のための駐車場）の導入について



在宅医療・介護サービスの円滑な利用を支える駐車場マッチングの仕組みとして、ハートフルパーキングという取組みがあります。

近隣市では平成30年から春日井市、令和2年から小牧市において運用を開始しています。

この仕組みは、訪問診療、訪問看護、訪問介護、ケアマネジャー等の医療・介護従事者や市の認定調査員等が、駐車スペースのないお宅を訪問する際に、近隣の登録いただいた駐車スペースを一時的に借用することで、路上駐車などを防ぎ、円滑な在宅医療・介護サービスを提供できるようにするものです。

本市の特徴として、高齢化率が高く、訪問・在宅サービス利用者が多いことや、狭い道路が多く路上駐車懸念もあることから、制度導入の検討を始めてはどうかと考え質問しました。



詳しくはこちら！  
Youtube動画

Q. 本市は、高齢化率も高く、道が狭いという特徴から、調査やヒアリング等を通じてニーズを把握すべきではないか。



A. 介護事業者等から駐車場の確保ができないというお困りの声は、現在まで伺っていない。要望が多く寄せられた場合は、ヒアリング調査を行う予定。

今回の質問を行ったことで、ハートフルパーキング制度の実現に向けたレールは、ある程度引けました。あとは、地域包括の皆様、ケアマネジャーさん、在宅医療・介護関係者の皆様、各種介護サービス提供者の皆様が行政に対して、**声を挙げてくだされば**、きっとこの事業は動き出します。

松原大介応援クラブ

〒489-0055 愛知県瀬戸市滝之湯町24-1

TEL：0561-76-3153

Email：d.matsubara3153@gmail.com

Instagram



facebook



松原大介応援クラブ  
ホームページ

